

同異本曰 松倉一族横田喜右衛門横田治部 横田物部 横田華人久勝

後筒井氏ノ子某 蓋シ順興ノ子ナルベシ 入テ横田ノ家ヲ繼グニ及ビ藤原氏ヲ冒シ松倉ト稱シ、遂ニ其ノ臣下ニ屬

シ森・島ノ二氏ト共ニ筒井ノ三老ト稱セラル。同家ノ略系ハ筒井諸記ニ見ユ。曰ク

和州筒井流藤原姓 世々横田家ト云、元ト品山家曰ト云フハ誤也

父筒井氏某 母横田物部姓也

松倉彌七郎 藤原政秀

和州添上郡 横田領主

室ハ阿州島山氏ノ族小野方綱ノ女

松倉權左衛門秀政

横田領主 字智郡二見領主

松倉右近丞勝重

天正十四年三月七日卒

女 ト部姓鎌持治部少輔ノ二男 松村仁左衛門直豐ノ妻

女 森縫佐好高ノ妻

松倉豊後守重政

元和元年肥前島原城主 初名孫七郎トモ九市郎トモアリ

松倉十左衛門重宗

和州二見下ノ村居住 法名西庵宗浦居士

○郷士記曰政秀筒井三老ノ内元ハ一族知行七千石 昭ニ仕フ

○同日權左衛門天正十四年三月

○同日勝重ハ政秀ノ長子ニ定次ニ從ヒ伊州ヘ引越 名張城代トナル則チ彼地ニ病死ス生年六十歲 五條左馬助ニ見雅樂阿原城大學石上榮女布留織部 筑紫市ノ本合三千石餘

○同日重政ハ勝重ノ長子始メ九郎市ニ從ヒ後伊州ヲ去 テ字智郡ニ住シ……又源慶長十三名張ヲ去テ 和州五條ニ五千石ヲ賜ヒ大坂一亂ニ功有テ肥前島 原ニテ六萬石ヲ給リ…… 慶長和州高付帳曰七百五十一石一斗六升二合 二見村 松倉豊後守

女 久世九右衛門妻

松倉長門守勝房

肥前島原城主六萬石領之 寛永十四年吉利支丹一揆起ルニ付切腹

添上郡横田村當村中ニ元和已前城地并圓證寺跡遺ニ相分リ不申候

但近年十ヶ年以前大念佛宗ニテ當村惣寺筒井山願興寺ト名付候堂ヶ院御座候過去帳其外古キ物無御座候

當村徳右衛門家地之内叢林御座候其中ニ五輪塔大小五ツ

松藏頼秀

永祿十寅年 西道禪定門

琳光尼

天文 五月八日

残り二基不詳

山村壘 帯解町ノ山村ニアリ。郷士記ニ「山村平城、山村新入」ト即チ是。新入ハ用明天皇ノ皇孫山村

王ノ苗裔ナリ。

郷士記曰 山村新入 久米ノ王子 山村王之孫 窪轉經院宗恩 山村氏

○按ズルニ續日本紀ニ「神護景雲元年十一月癸亥、參議從三位治部卿兼左兵衛督大和守山村主亮、池邊雙槻宮御宇、橘豊日天皇皇子久米王之後也。」ト見ユ。山村王ノ子孫ココニ住シ因テ山村氏ヲ負ヘルナルベシ。降ツテ足利ノ季世ニ山村氏大乗院領大宅寺庄ノ下司タリ。是、新入ノ先人ニシテ即チ亦山村王ノ子孫ナルベキモ事跡ヲ詳ニセズ。